

創立 40 周年記念事業



Kurashiki Sakuyo University 40th Anniversary



創立40周年記念式典

平成18年11月17日(金) 10:00～
藤花楽堂

心地よい風の吹く秋晴れの中、くらしき作陽大学創立40周年記念式典が行われ、来賓はじめ卒業生、教職員など多数の関係者にご列席を賜りました。

式辞

くらしき作陽大学創立40周年にあたり

本学の母体である作陽学園は、創立者松田藤子先生の「大乘仏教に基づく宗教的情操教育」を建学の精神として昭和5年につくられたものでございます。当時は、明治以来の日本の教育方針が東洋の幽玄な思想を捨て一も西洋、二も科学と知識偏重の教育であったことから、将来、日本固有の尊い精神生活が失われ、経済的には豊かになっても心貧しい社会になることを憂えた創立者は、大乘仏教を中心とした教育でなければ本当の人間は育たないと考え、学校づくりを決意したのでありました。その時恩師から「念願は人格を決定す 継続は力なり」の言葉のもとに教育をし、学校をつくるようにと励まされたのでございます。創立者は昭和の時代が終るまで学長として宗教を教えていましたが、その後、建学の精神の火が消えかかって参りました。近年、自己点検・評価が義務化されたことと、人間教育、あるいは心の教育が叫ばれていることもあり教職員一人一人が創立の理念に還り、徹底することに努めていま

す。学生一人一人が、現代文明社会に貢献

できる知識と技術を身に付けると同時に、ささやかでも人によるこびを与え常に人間性の向上をはかっていく人になって欲しいと願っているところです。

わが国は、科学技術が更に発達し、一層物質が豊かで便利な社会になっていくことでありましょう。しかしこのままでは人の心は希薄になり失われてしまう恐れさえあります。私共はこの節目の年に当り、人間にとって真に幸せな文明社会構築のために、他者への貢献を喜びとし、心豊かにいきいきと生きる学生の教育に一層力を注ぐ決意を申し上げ、式辞といたします。(式辞より抜粋)



学長 松田英毅

作陽学園歌

作詞/山崎樹朗 作曲/湯浅譲二

作陽の熱き血汐の若人我ら
この学や舎に集い来て
法灯高く掲げつつ
輝くいのちの日を送る

友よ今 肩組み夢を語るかな
無量の光につつまれて
人生賛歌うたう時
瞳は紫紺の空を見る

いつの日か遠き荒野に旅立ちて
真実心を胸に秘め
心のうたを響流せよ
青春作陽思いつつ



創立40周年記念講演会

平成18年11月17日(金) 10:45～
藤花楽堂

テーマ

良い遺伝子をONにして可能性を引き出す

講師：村上和雄氏（筑波大学名誉教授）

式典後、引き続き藤花楽堂で記念事業の一環として記念講演会が行われました。

村上和雄氏の軽快な話しぶりに、会場は終始笑い声に包まれていました。



プロフィール



村上 和雄氏

1936年生まれ、京都大学大学院博士課程修了（農芸化学）。米国バンダビルト大学医学部助教授、筑波大学応用生物化学系教授等を経て、1999年より現職。高血圧の黒幕である酵素「レニン」の遺伝子解読に成功、世界的な業績として注目を集める。1990年マックスプランク研究賞。1996年日本学士院賞。著書に「生命の暗号」他多数。



創立40周年記念演奏会

平成18年11月17日(金) 16:00～
藤花楽堂

記念式典、記念講演会が終了した後、休憩をはさんで記念事業の中でも最大のイベントである記念演奏会が、藤花楽堂で開催されました。

学生出演者は、当初の予想を遥かに超える超満員の聴衆の期待に見事に応え、すばらし演奏を披露してくれました。



くらしき作陽大学創立40周年 記念演奏会を終えて

創立40周年記念事業の中でも中心となるべく計画された事業がこの演奏会であった。その中心たるべき岩城先生が急逝され、関係者の面々に心配と不安、そして何か今ひとつ緊張感に欠けた空気が流れていたものの、本番が近づくにつれ、やらねばならぬという思いが、いやが上にも増していった。演奏会を担当していたものの一人として、最も心配されたのは当日の観客動員であった。岩城先生の逝去によりマスコミの取り上げ方も予想と違い、一般客の参加はほとんど期待できないものと考えていた。

ところがいざ蓋を開けてみると、開場の1時間も前から一般客が一斉に訪れ、また学生も200名以上参加し、会場がほぼ満員状態になるという、うれしい誤算となった。演奏会は会場が埋まってこそ盛り上がるもの。演奏者も普段以上の力を発揮するものである。1曲目の「テ・デウム」の合唱はまさにそれを証明するにふさわしい歌声を聞かせてくれた。合唱団といっても内実は副科の学生たちが多く、前日のリハーサルでは

「こんなものかな、いやよくやっているほうだ」などと内心忸怩たる思いであったが、本番では見事に歌い切り、今後予定している様々な企画に大いに期待が持てる内容であった。また重利君(ピアノソロ)も満員の聴衆の前に、またプロオーケストラをバックにどんなに緊張したことかと思うが、見事に弾きこなしてくれた。

「ブラーヴォー!ブラーヴォー!」声援がホール隅々まで響き渡り、見渡す限りの人たちが、言葉にならない感動と感謝の気持ちを拍手に込めてステージに送っている。指揮の森口先生は、ソロ、そしてパートごとに演奏者を立たせ、観客の熱い拍手を身体一杯に感じるとばかりに優しくエスコートされている。稲庭先生も客演のジェラルド・ブーレ先生もオーケストラ・アンサンブル金沢のメンバーもそして学生達も、この一瞬に賭けた者にしか分からない充実感に満たされた満面の笑顔を呈し、拍手を浴びている。大学創立40周年記念演奏会最後のプログラム、チャイコフスキー作曲交響曲第4番の終了である。

この成功におごることなく10年後の創立50周年の青写真を今からしっかり練っておきたいものである。

演奏芸術センター長 山下耕司

プログラム

J.Aブルックナー/テ・デウム ハ長調 WAB45
J.A.Bruckner/ Te Deum C-dur WAB45

ソプラノ：池田 尚子
アルト：林 美智子
テノール：田中 誠
バリトン：井原 秀人
合唱：くらしき作陽大学40周年記念合唱団
管弦楽：くらしき作陽大学管弦楽団
指揮：森口 真司

L.v.ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調《皇帝》作品73
L.v. Beethoven/ Piano Concerto No.5 Es-dur Op.73

第1楽章 Allegro
第2楽章 Adagio un poco mosso
第3楽章 Allegro
ピアノ：重利 和徳（くらしき作陽大学音楽専攻科）
管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢
指揮：森口 真司

— pause —

P.I.チャイコフスキー/交響曲 第4番 ヘ短調 作品36
P.I.Tchaikovsky/ Symphony No.4 f-moll Op.36

第1楽章 Andante sostenuto-Moderato con anima
第2楽章 Andantino in modo di canzona
第3楽章 Scherzo: Pizzicato ostinato: Allegro
第4楽章 Finale: Allegro con fuoco
管弦楽：くらしき作陽大学管弦楽団/オーケストラ・アンサンブル金沢
指揮：森口 真司



出演者プロフィール



ソプラノ
池田 尚子

京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。平本弘子、故手島孝教、常森寿子の各氏に師事。「ヘンゼルとグレーテル」「アマルと3人の王様」に出演。2007年2月にはオペラ「ワカヒメ」（ワカヒメ役）に出演。その他、イスラエルの歌を、イスラエルやボストンにて公演。榛名梅の里音楽祭&「日本の歌」スプリングセミナー講師特別賞（'99）奨励賞（'06）受賞。第23回飯塚新人音楽コンクール入賞。中国二期会会員。



テノール
田中 誠

国立音楽大学卒業。同大学院オペラ科修了。1980年にオットマール・スウィートナー指揮のヘンデル『アチスとガラテア』のアチス役でオペラデビュー。以来、『ヴォツェック』『魔弾の射手』『蝶々夫人』『カルメン』『椿姫』『秘密の結婚』等数多くのオペラに出演。その他、清水脩作曲の歌曲集「智恵子抄」によるリサイタルを開くなど、古典から現代曲に至るまでレパートリーを広げている。二期会会員。くらしき作陽大学教授。



指揮
森口 真司

京都大学在学中より指揮を田中良和氏に師事。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。在学中に遠藤雅古、フランシス・トラヴィス、若杉弘、岩城宏之の各氏に師事。1995年、ブラハの春国際音楽コンクール指揮部門に於いて第3位受賞（1位なし）。最近では、オペラ等の合唱指揮者としても絶賛され、日本のオペラ界に欠かすことのできない存在として極めて高い評価を受けている。くらしき作陽大学・東京藝術大学講師。



メゾソプラノ
林 美智子

東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科修了。新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣でミュンヘン留学。「国際ミトロプーロス声楽コンクール2003」で最高位入賞。確かな歌唱力と抜群の存在感で、宮本亜門をはじめとする国内外の著名な演出家からも最大級の賛辞が寄せられている。ピクチャーエンタテインメントよりファースト・アルバム「赤と黒」がリリースされるなど、その活躍が注目されている。二期会会員。



バリトン
井原 秀人

1999年、大きな話題を呼んだ、黛敏郎：オペラ「金閣寺」においての衝撃的な成功により、2000年度出光音楽賞を受賞。現在最も注目を集めている若手バリトン歌手の一人である。出光音楽賞、村松賞大賞、兵庫県芸術奨励賞、神戸市文化奨励賞、神戸灘ライオンズクラブ音楽賞、松方ホール音楽大賞、ブルーメール賞、ABC音楽賞・クリスタル賞、平成16年度大阪舞台芸術奨励賞等を受賞。同志社女子大学助教授。



ピアノ
重利 和徳

岡山県立城東高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。くらしき作陽大学音楽学部音楽学科モスクワ音楽院特別演奏コース卒業。第26回山陽学生音楽コンクール高校の部第1位。第46回全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位。第76回読売新人演奏会出演。これまでに簡井恵子、古川五巳、日高七重、笠間春子、A.ピサレフ、V.オフチニコフ、山崎孝の各氏に師事。くらしき作陽大学音楽専攻科在籍。

創立40周年記念事業

特別演奏会 Concerto & Aria

平成18年12月2日(土) 17:00～
藤花楽堂

本学卒業生を代表するプロのソリスト3人（石原亜矢、森博文、蓮井求道）と、本学卒業生が多数在籍する九州交響楽団との共演で、卒業生・在学学生・教職員は元より一般のお客様も大勢ご来場いただき、ほぼ満員の大盛況でした。演奏内容も、バリトン歌手の蓮井本学教授による音楽監督、ミラノ出身の世界的指揮者ダニエーレ・アジマン氏の素晴らしい指揮の下、期待どおりのプロの演奏を披露してくださいました。



創立40周年記念事業

卒業生・在学学生合同演奏会 「Salon de Sakuyoコンサート」

平成18年12月3日(日) 13:30～
藤花楽堂

作陽が誇るマーチングバンドDrum & Brass Corps “MUSICA” の演奏を皮切りに、プロの演奏家である卒業生が、在学学生と協演し、多彩なプログラムで観客を楽しませていただきました。



創立40周年記念事業一覧

2006.5.20 [sat]
教育フォーラム

創造的人材を育成する—MOTから MOSATへ—

2006.9.23 [sat] / 24 [sun]
音楽療法国際シンポジウム in Sakuyo

2006.11.17 [fri]
記念式典

記念講演会

「良い遺伝子をONにして可能性を引き出す」
講師：村上和雄（筑波大学名誉教授）

記念演奏会

指揮：森口真司

演奏：くらしき作陽大学管弦楽団

賛助協賛：オーケストラ・アンサンブル金沢

2006.12.2 [sat]

特別演奏会 ～Concerto & Aria～

指揮：ダニエーレ・アジマン

出演：石原亜矢（ピアノ）/ 森博文（ホルン）/ 蓮井求道（バリトン）

演奏：九州交響楽団

2006.12.3 [sun]

卒業生・在学学生合同演奏会
「Salon de Sakuyo コンサート」

指揮：中井章徳/ダニエーレ・アジマン

演奏：本学卒業生/在学学生

「Salon de Sakuyo」（同窓生懇親会）

2007.3.5～13

北イタリア演奏旅行

○音楽教育学科

・アカデミア・ウインド・オーケストラ

・ドラム&ブラス コー「ムジカ」

ヴェルディ音楽院・ヴェルディホール（ミラノ）

プレーシャ歌劇場（プレーシャ）

ベルガモ歌劇場（ベルガモ）